

〔資料提供〕（案）

月 日	担当課（室・館等）	電話	担当者
令和8年5月29日（金）	博物館 （人文担当）	668-3636	大塩 啓一郎・近藤 玲

歴史・文化コレクション
なにわゆうじろう
「阿波の郷土史家 浪花勇次郎—新着の考古資料紹介」
の開催について

1 開催趣旨

浪花勇次郎氏（1900-1983）は、戦前から戦後にかけて活動し、主に金石資料（文字がある考古資料）を調査研究した郷土史家です。1930年の阿波郷土研究会の創立に関わるなど、徳島の歴史研究に大きな影響を与えました。当館では、ご遺族から考古資料を中心とした収集品や蔵書、書簡などを新たに受け入れました。この展示では、当館が保管している浪花勇次郎氏ゆかりの資料を紹介し、郷土の歴史の解明や遺跡の保存活動に尽力した同氏の足跡について、振り返っていただく機会になれば幸いです。

2 主 催 徳島県立博物館

3 会 期 令和8年6月2日(火)から9月27日(日)
休館日 月曜日(ただし7月20日、9月21日は開館)、
7月21日(火)、9月24日(木)

4 開館時間 午前9時30分～午後5時

5 会 場 徳島県立博物館 2階 常設展示室内 歴史・文化コレクション

6 観 覧 料

常設展観覧料（一般400円、高校・大学生200円、小・中学生100円）

※祝日は無料

※各種減免あり

7 展示構成

Ⅰ. 浪花勇次郎氏の研究

・金石文研究

金石文目録、浪花勇次郎氏収集拓本

・経塚研究と収集品

いぬふしぞうさだにきょうづか

犬伏蔵佐谷経塚（板野町）、

ほうきだいにちじ

伯耆大日寺経塚（鳥取県倉吉市、日本最古の瓦経塚）

II. 浪花勇次郎氏のネットワーク

・ネットワークを示す文献資料

・ネットワークを示す考古資料

き た さだきち

喜田貞吉（小松島市出身、なんぼくちょうせいじゆんろんそう南北朝正閏論争、法隆寺再建論争などで有名）

なかやまへいじろう

中山平次郎（九州考古学の先駆者、「元寇防塁」の命名、「弥生時代」の概念

の設定などで有名）

たかの こうろく こうろかん

高野弧鹿（鴻臚館（古代日本の迎賓館）の発見などで有名）

など、当時の日本を代表する研究者との交流を示す資料

III. 浪花勇次郎氏の収集品

・石器、土器、刀、瓦、拓本、石碑など

IV. 浪花勇次郎氏と文化財保護

※若干変更がある場合があります。

8 展示解説

(1) 日時

① 6月7日(日)

② 8月2日(日)

③ 9月20日(日)

いずれも午後1時30分から午後2時まで

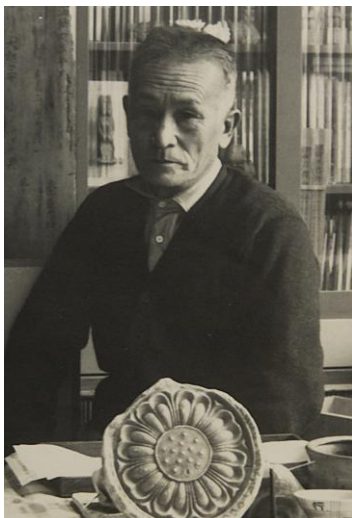
(2) 会場

徳島県立博物館 2階 常設展示室内 歴史・文化コレクション

(3) 備考

事前申込不要

常設展観覧料必要



浪花勇次郎氏肖像



中山平次郎採集、高野弧鹿氏旧蔵

の福岡県須玖岡本出土内行花文清白鏡

(異体字のある弥生時代の銅鏡)